

資料番号	5
------	---

令和4年2月14日  
課名 商工労働局  
商工労働総務課  
担当者 課長 長谷川  
内線 3310

# 広島県経済の動向

令和4年2月14日  
商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		R4年
	11月	12月	1月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる	
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しに足踏みがみられる		持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直している	
住宅建設	このところ持ち直しの動きがみられる	おおむね横ばいとなっている	
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している		

### (2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和4年1月18日公表)】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		R4年
	11月	12月	1月
基調判断	持ち直しの動きがみられている		
輸出	自動車を中心に下押し圧力が続いており、持ち直しのペースが一段と鈍化している	持ち直しの動きがみられている	持ち直している
生産	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きがみられている	持ち直している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている		
個人消費	持ち直しの動きがみられている		持ち直しの動きはみられるが、足もとでは、サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている
住宅投資	持ち直している		

### (2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年2月3日公表）】

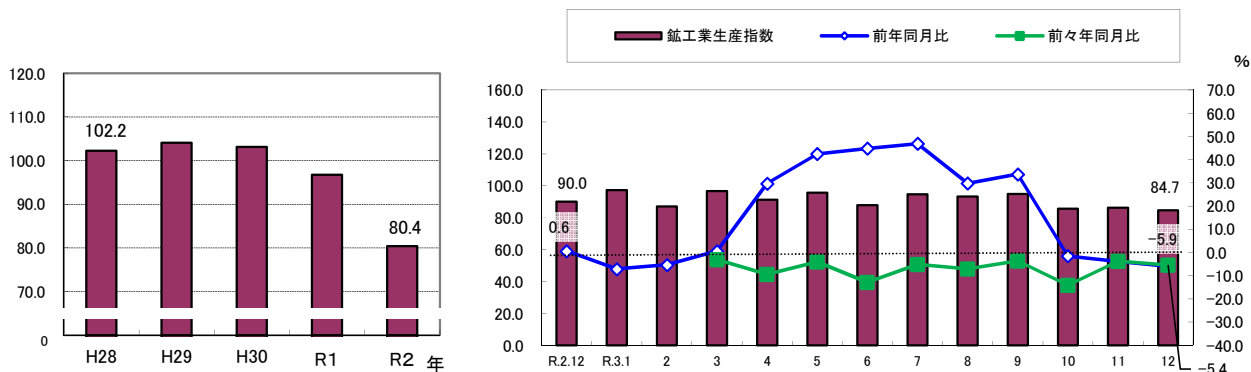
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼(令和3年12月)

12月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は84.7で, 前年同月比で5.9%減少, 前々年同月比5.4%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

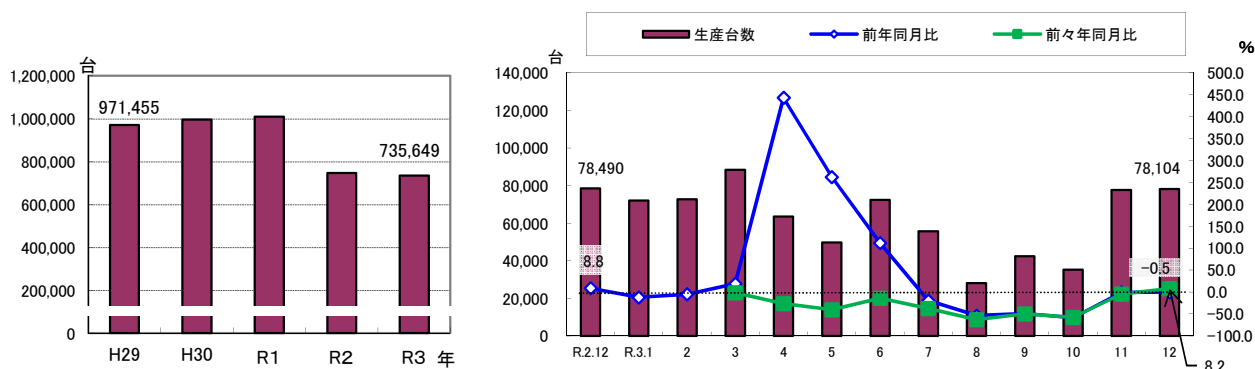


### 2 自動車(令和3年12月)

12月の国内生産台数は78,104台で, 前年同月比で0.5%減少, 前々年同月比8.2%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

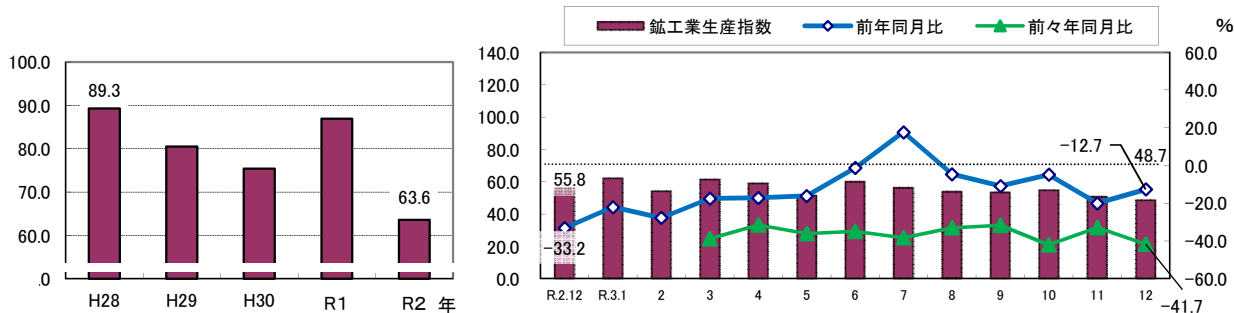


### 3 造船(令和3年12月)

12月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は48.7で, 前年同月比で12.7%減少, 前々年同月比41.7%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

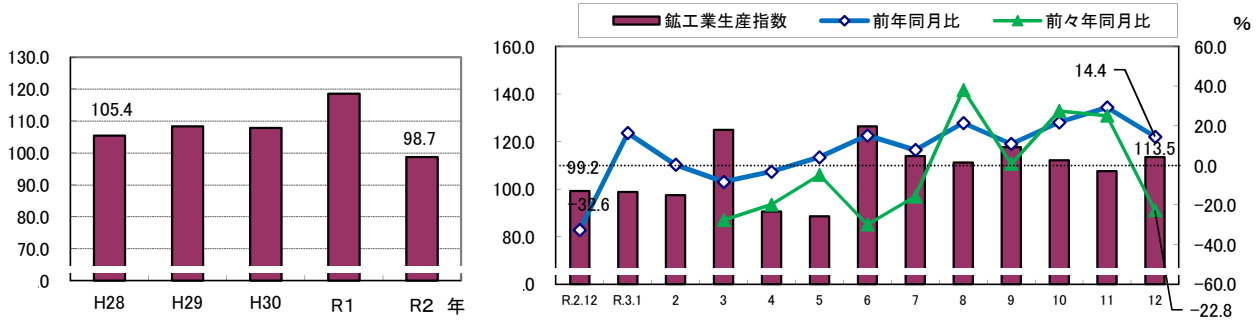


#### 4 一般機械(令和3年12月)

12月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は113.5で, 前年同月比で14.4%増加, 前々年同月比22.8%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

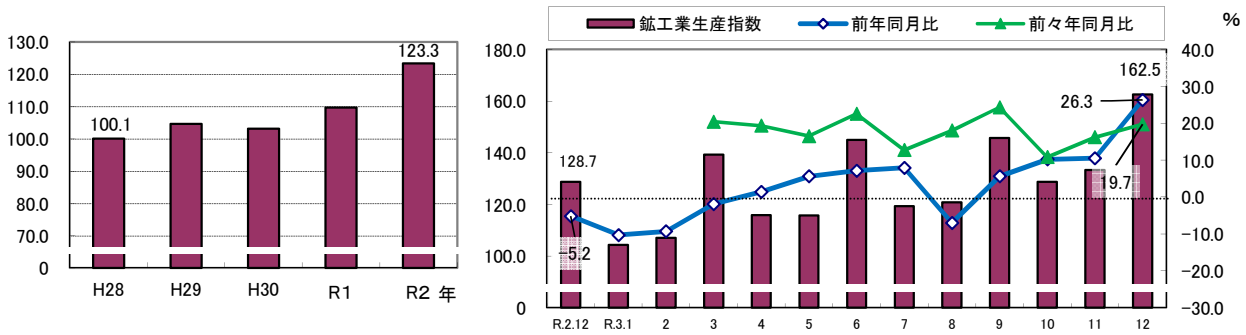


#### 5 電気機械(令和3年12月)

12月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は162.5で, 前年同月比で26.3%増加, 前々年同月比19.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

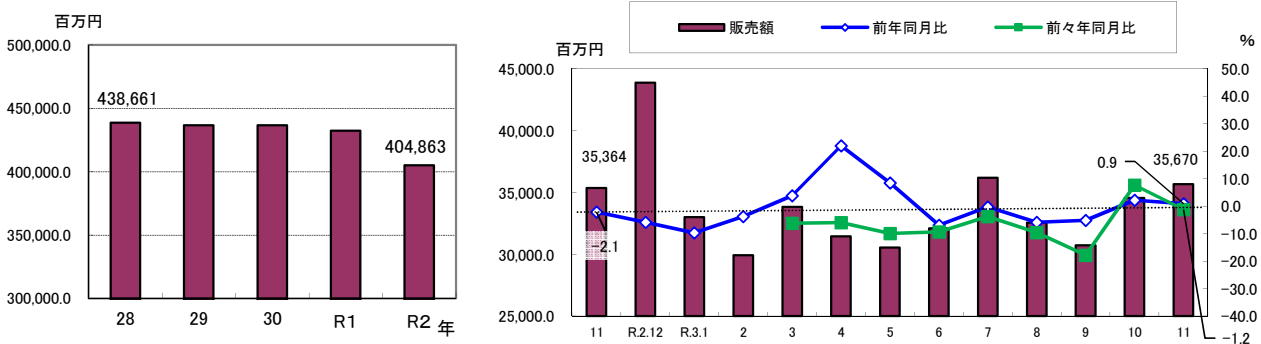


### Ⅲ 県内小売業等の動向

#### 1 百貨店・スーパー(令和3年11月)

広島県の11月の販売額は、35,670百万円(速報値)で全店舗前年同月比で0.9%増加、前々年同月比1.2%減少となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比) 【中国経済産業局】

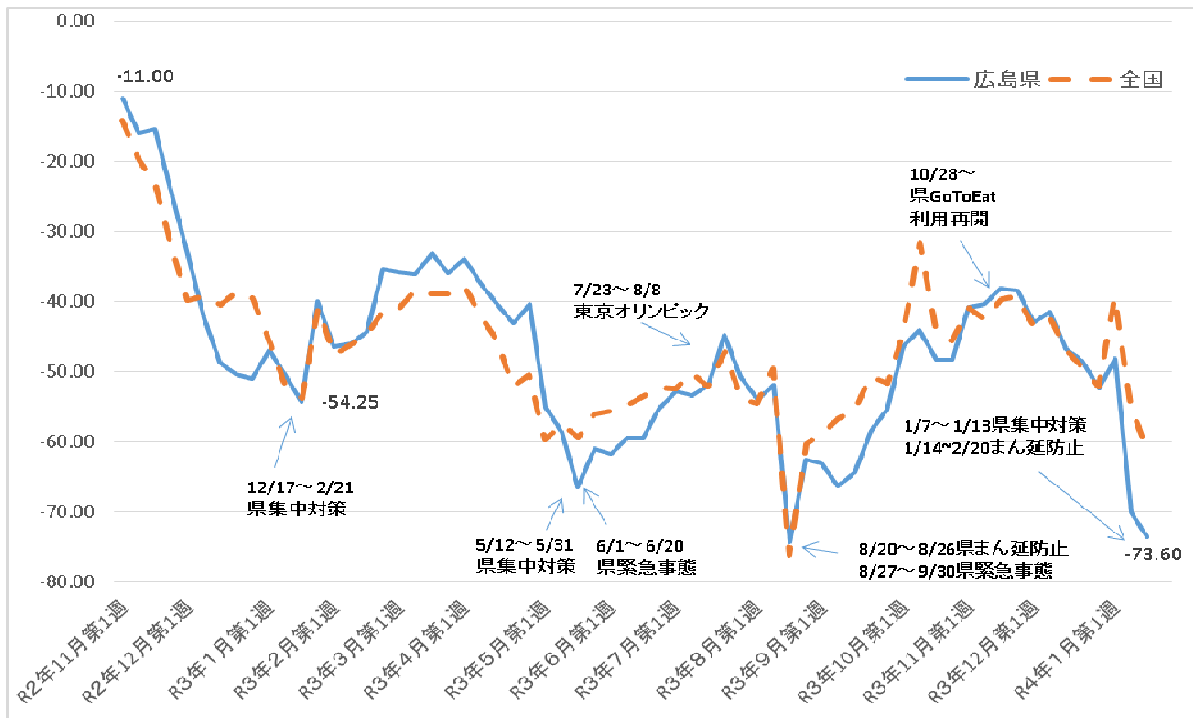


#### 2 飲食(令和4年1月)

広島県の1月の大手飲食店情報サイト閲覧数の平成31年同週比は73.60%減少となっている。

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方創生推進室  
V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供)

飲食店情報の閲覧数(広島県)(平成31年・令和元年同週比) (データ更新日:令和4年2月4日)



### 3 観光

#### (1) 宿泊客数(令和3年11月)

直近の数値である、令和3年11月の宿泊客数は、69.4万人で、前年同月と比べ9.3万人泊減（△12%）、令和元年同月と比べ31.7万人泊減（△31%）となっている。

#### 【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1-11月計
広島県	宿泊者数	30.3	34.4	52.9	47.0	39.7	31.2	52.3	47.7	34.7	58.8	69.4	498.4
	R 2年宿泊者数	73.6	72.6	54.7	26.5	20.9	34.4	53.5	60.5	69.6	73.4	78.7	618.5
	R 2年比	41%	47%	97%	177%	189%	91%	98%	79%	50%	80%	88%	81%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	1,077.7
	R元年比	41%	45%	52%	43%	36%	36%	55%	42%	36%	53%	69%	46%
全国	宿泊者数	1,729	1,763	2,729	2,244	2,047	1,960	2,991	3,098	2,243	3,157	3,636	27,597
	R 2年比	37%	43%	106%	208%	229%	124%	128%	108%	79%	91%	98%	91%

※R3年は第2次速報値で、R元年及びR2年は確定値を反映。

R3年の数値は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

#### (2) 県内主要観光施設の観光客数(令和3年12月)

10月に集中対策が終了し、観光誘客促進事業「やっぱ広島じゃ割」が開始されたこと等により、11月の観光客数は令和2年同月の水準まで回復した。

12月の観光客数は、観光誘客促進事業に加え、年末年始の帰省や旅行等により、令和2年同月から大幅に増加し、令和元年同月の水準近くまで回復している。

#### 【各観光施設からの聞取調査】

(単位:人)

観光施設	R元年			R2年			R3年			
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月	
広島平和記念資料館	237,213	197,984	94,291	66,339	85,199	27,462	67,337	107,564	77,525	
	R元年比	—	—	—	28%	43%	29%	28%	54%	82%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	102%	126%	282%
宮島来島者数	406,033	485,322	282,537	230,795	373,190	164,945	200,325	340,315	254,406	
	R元年比	—	—	—	57%	77%	58%	49%	70%	90%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	87%	91%	154%
大和ミュージアム	97,758	88,610	55,034	31,974	50,437	22,948	30,238	41,909	38,276	
	R元年比	—	—	—	33%	57%	42%	31%	47%	70%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	95%	83%	167%
道の駅たけはら	16,417	15,223	12,647	12,131	13,273	10,497	13,906	12,940	12,231	
	R元年比	—	—	—	74%	87%	83%	85%	85%	97%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	115%	97%	117%
神楽門前湯治村(定期公演)	3,437	4,858	2,101	休演	休演	休演	1,113	2,495	794	
	R元年比	—	—	—	—	—	—	32%	51%	38%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千光寺ロープウェイ	43,134	47,631	21,740	32,310	45,512	7,041	24,639	37,570	9,634	
	R元年比	—	—	—	75%	96%	32%	57%	79%	44%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	76%	83%	137%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2,072	1,842	768	2,949	4,013	537	1,914	2,010	764	
	R元年比	—	—	—	142%	218%	70%	92%	109%	99%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	65%	50%	142%
国営備北丘陵公園(千人)	70	72	80	54	92	67	48	100	78	
	R元年比	—	—	—	77%	127%	83%	69%	139%	97%
	R2年比	—	—	—	—	—	—	89%	109%	116%



## IV 中小企業の動向(令和3年12月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年1月15日時点）】

### 1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染症におけるオミクロン株の出現もあり、不安定な状態が続き、景気はやや悪いまま横ばい傾向が続いている。原油価格の高騰とともに原材料の不足や価格上昇によって、収益が圧迫されている業種が多く見られる。依然として、先行き不透明感が強く、引き続き今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比11.4%減少と6ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同12.0%増加と7ヶ月ぶりの前年超えとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比33.1%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比3.7%増加となったが、広島県内の着工戸数は前年同月比6.8%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

### 2 景況感・景況感の変化

業種	11月の景況感	12月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	悪い	やや悪い
木材	やや好況	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや好況	やや好況
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	やや悪い

業種	11月の景況感	12月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	やや好況
自動車部品	普通	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	11月	12月	増減
好況	0	0	0
やや好況	2	3	1
普通	4	2	▲2
やや悪い	10	13	3
悪い	4	2	▲2

### 3 前月(11月)から変化のあった主な業種

業種	11月の景況感	12月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	悪い	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の前半はまずまずの状況で推移していたが、9月頃から生産が減少した。その後、新型コロナウイルスの収束も見え始めてきたというときに、感染力が強い「オミクロン株」が出現し、猛威を振るっている。またここに来て、いろいろと規制がかかるのではないかと不安に思う。ただし、大手企業からは、軒並み良い決算の情報が伝えられている。</li> <li>・ 今年の冬は、当初より「寒くなる」と言われており、冬物が売れると思っていたが、新型コロナウイルスの影響により、消費は、高級品以外はもう一歩のところであり、現実はなかなか厳しい状況である。</li> </ul> <p>【(一財)広島県織物工業会】</p>
電気機械器具	普通	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今月の売上は前月比5%増加、前年同月比10%増加となった。</li> <li>・ 受注の増加が売上につながったことが要因である。</li> <li>・ 電子部品の価格上昇と、調達に難航する部品があることが先行きの懸念材料である。</li> </ul> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
自動車部品	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。</li> <li>・ 新型コロナウイルスの影響による半導体の供給不振はほぼ解消され、12月はフル操業での生産をしている。今後は、供給リスクは部分的にあるが、ほぼ新型コロナウイルス感染拡大前のレベルに回復。今春立ち上げの新型車の生産準備を人的資源も含めて行っている。</li> </ul> <p>【東友会協同組合】</p>

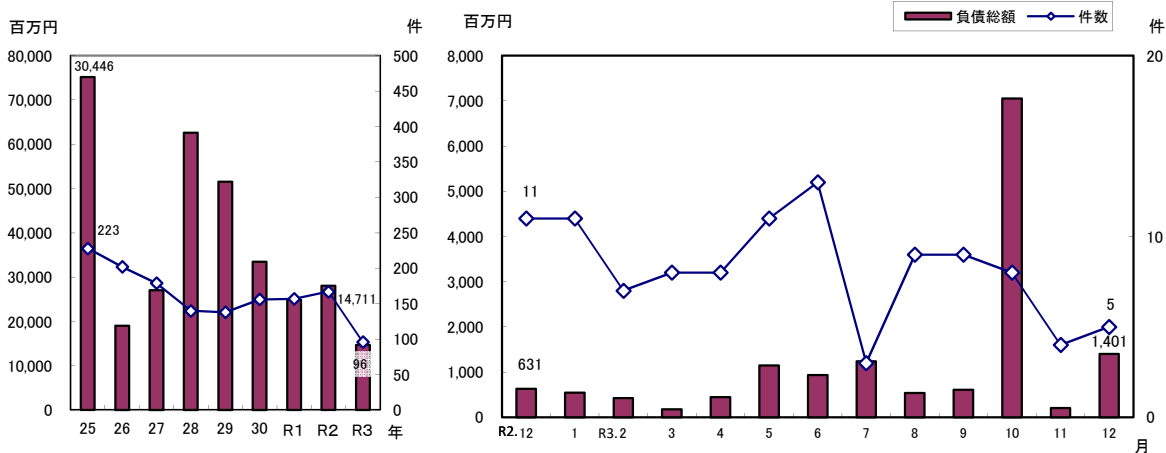
## V 企業倒産状況(令和3年12月)

### 1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が5件、総額14億100万円であった。
- ・前月比で件数は1件増加し、負債総額は11億9,600万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は6件減少し、負債総額は7億7,000万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）は1件発生した。

区 分	令和3年10月	令和3年11月	令和3年12月
件 数 (前年同月比)	8件 (33.3%減)	4件 (55.6%減)	5件 (54.5%減)
負債総額 (前年同月比)	7,051百万円 (88.5%増)	205百万円 (75.4%減)	1,401百万円 (122.0%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別, 月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が2件、製造業、建設業、サービス業が各1件となった。負債総額では、製造業、卸・小売・飲食業、建設業、サービス業の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が4件、シワ寄せが1件であった。

### 4 今後の見通し

令和3年12月度の倒産件数は前年同月比6件減となった。令和3年で倒産件数が前年同月を上回った月は5月と9月の2ヵ月でその他9ヵ月(1月は同数)は減少となり、年間(1月～12月)の累計倒産件数96件と前年(令和2年累計167件)から71件減(42.5%減)と大幅に減少し、新型コロナウイルス対策の各種コロナ支援策などによって倒産の発生は抑制された状態が続いている。日本国内の新型コロナウイルスワクチン接種は進み、新型コロナウイルスの新規感染者数も10月以降は全国的に少なくなって制限されていた経済活動の活発化が期待されていた。しかし、新たに発生した変異株の感染者が世界的に広がり、国内においても年明けから新規感染者数は急激に増加している。広島県内においても感染は急速に拡大しており、1日の新規感染者数は1月7日から10日まで4日連続で最多を更新し、9日から「まん延防止等重点措置」が適用された。それに伴い、飲食店には5時から20時までの営業時間短縮と、酒類の提供を行わないことの要請がなされた。

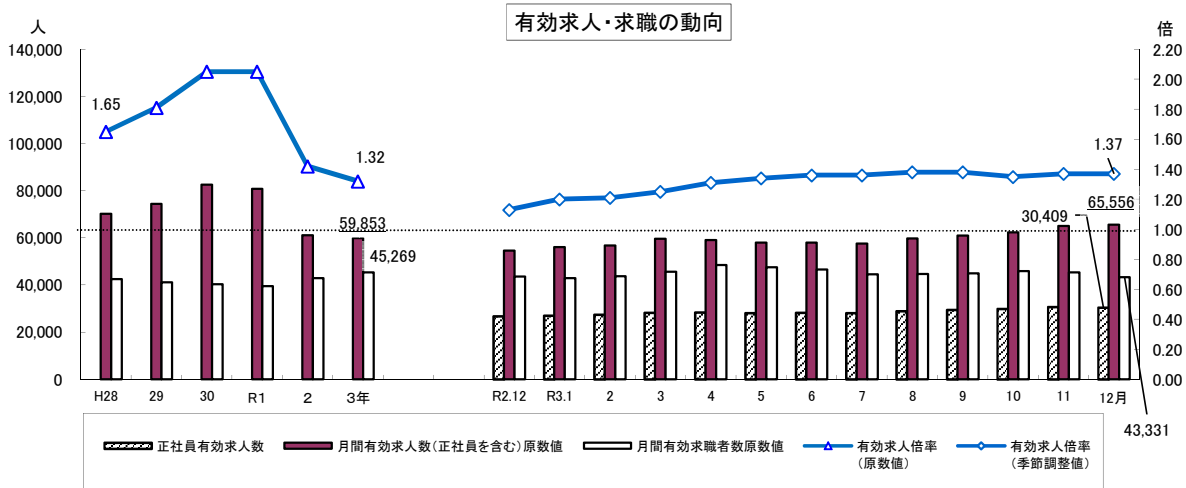
また、県観光誘客促進事業「やっぱ広島じゃ割」の新規予約、利用を停止、Go To Eat キャンペーンも予約販売を停止、利用自粛が要請され、往来についても、重点区域とそれ以外の地域との往来は最大限自粛が要請された状況となっており、経済活動の停滞が危惧される。前述のとおり取り巻く環境の厳しさが増している中、引き続き、様々なモノの価格が上昇傾向にあり、消費の落ち込みだけでなく、企業の収益が圧迫される可能性が高まっている。特に中小・零細企業にとってコスト上昇分を転嫁することは難しく、これまでに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた先や体力の乏しい企業中心に息切れする企業の増加が懸念され、倒産件数は増勢に転じる可能性が強まってきた。

## VI 最近の雇用失業情勢(令和3年12月)

### 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年10月	令和3年11月	令和3年12月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.35倍 (▲0.03ポイント)	1.37倍 (+0.02ポイント)	1.37倍 (±0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.09倍 (+0.14ポイント)	1.13倍 (+0.15ポイント)	1.18倍 (+0.16ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

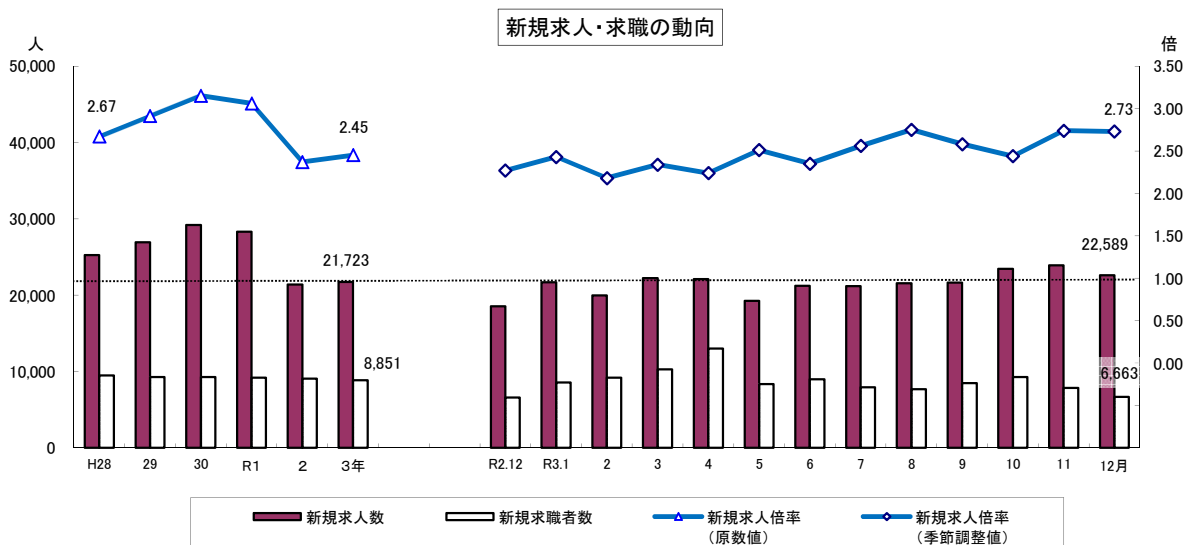
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

### 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年10月	令和3年11月	令和3年12月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.44倍 (▲0.14ポイント)	2.74倍 (+0.30ポイント)	2.73倍 (▲0.01ポイント)

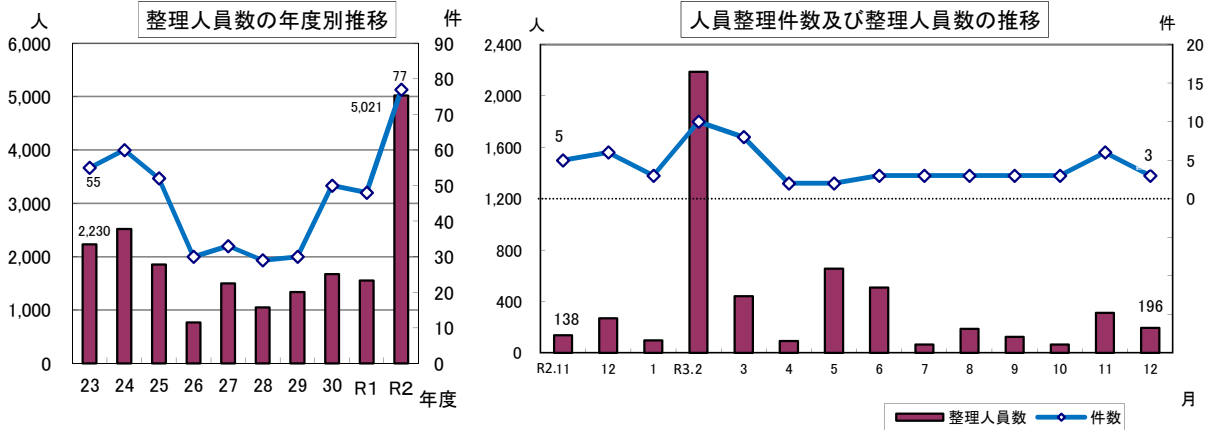
【広島労働局】



(注) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

### 3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年10月	令和3年11月	令和3年12月
件数 (前年同月比)	3件 (▲7件)	6件 (+ 1件)	3件 (▲ 3件)
整理人員 (前年同月比)	66人 (▲ 270人)	312人 (+ 174人)	196人 (▲ 75人)



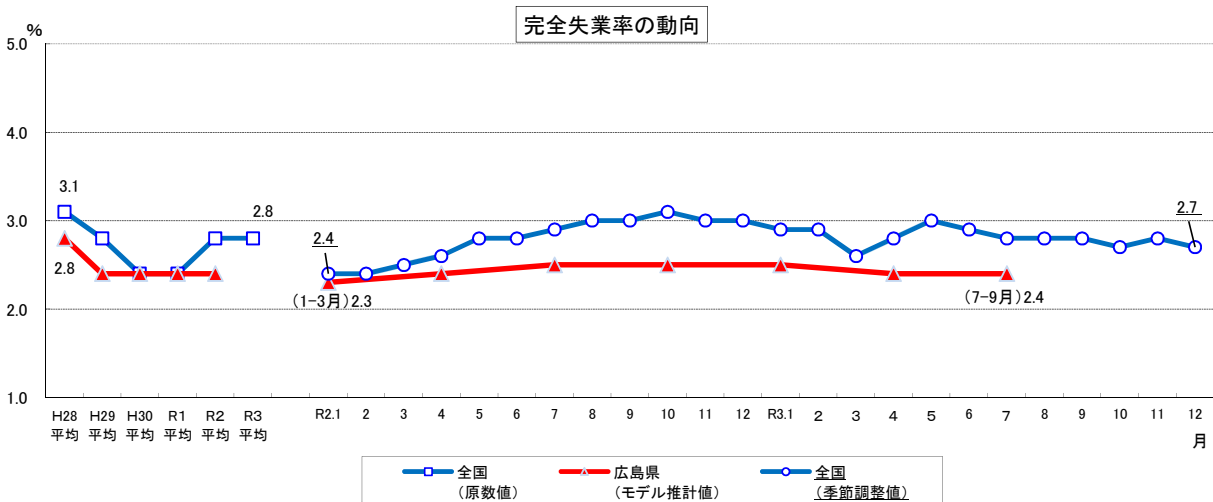
### 4 完全失業率の状況

区 分	令和3年10月	令和3年11月	令和3年12月
全国完全失業者数 (前年同月比)	183万人 (▲32万人)	182万人 (▲13万人)	171万人 (▲23万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.8% (+0.1ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)

区 分	令和3年		
	1～3月平均	4～6月平均	7～9月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.5% (+0.2ポイント)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。